

科目名称：	こどもの美術	
担当者名：	森田 ゆかり	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>パブロ・ピカソは次のような言葉を残した。「こどもは誰でも芸術家だ。問題は、大人になっても芸術家でいられるかどうか」「ようやくこどものような絵が描けるようになった。ここまで来るのにずいぶん時間がかかったものだ」大人になる過程で獲得したものも多くあるが、失ったもの、特に美術に携わる者として取り戻したいものは何だろう。こどものように無心に素材や行為を楽しみ、試行錯誤する中で偶然生まれる色や形には想定外の面白さ、美しさがある。少しかたくなった心を自らの手でほぐし、美術の本質、表現の本質について改めて考えてみよう。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもの大人の発想から一旦離れ、小さなこどものように五感を働かせ、無心になって「素材」や「行為」を楽しむこと（造形遊び）により想定外の美が生まれる面白さ、楽しさを知る。</li> <li>・造形活動を通してこども一人一人の発達や思いが読みとれること、「こどもの世界観」を理解する。</li> </ul>		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、美術を通して様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、美術を通して、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	美術の分野において基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用し表現していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)			60	40	100
美術DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》アートスクール講師（2歳児～小学生の絵画・造形指導）	《経験年数1》2年6か月
	《内容2》アートディレクター（こども対象のワークショップなど企画・実践）	《経験年数2》4年10か月
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
理解度	授業の目標を理解し期待以上の主体的な学修が見られる。	授業の目標を理解し実践しようとしている。	授業の目標を理解している。	授業の目標を理解していない。
文書の分かりやすさ・見やすさ・量（ワークシート）	期待以上の文書が作成できる。	分かりやすくかつ見やすい文書を作成できる。	分かりやすい文書を作成できる。	文書が分かりにくい。量が少ない。
自分の考えの伝え方（ワークシート、グループワーク、レポート）	自分の考えを他者に伝え他者を納得させることができる。	自分の考えを論理立てて他者に伝えることができる。	自分の考えを他者に伝えることができる。	自分の考えが他者に伝わらない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 授業の目的と目標、無垢な目と自由な心① DVD『エリック・カール 色の魔法を学ぼう』	シラバスを精読しておく。	15分
第2回 造形遊び①エリックさんの色紙づくり ～こども心を呼び覚ます～（電子黒板使用）	第1回の授業内容（DVD視聴からの学び）を復習。	15分
第3回 造形表現①コラージュ エリックさんの色紙を活かす（電子黒板使用）	第1回の授業内容（DVD視聴からの学び）を復習。	15分
第4回 こどもの造形はオモシロイ①STEAM教育について、0,1,2歳児の表現を見る（電子黒板使用）	「作ること、描くことにまつわる幼少期の体験」について記しておく。	15分
第5回 造形遊び②五感で楽しむ絵の具遊び ゆびえのぐ（グループワーク）	「ゆびえのぐ」について調べ学習。	15分
第6回 絵を「見る」とは？「世界児童画展」の絵からこどもの声を聴く（電子黒板使用）	「世界児童画展」について調べ学習	15分
第7回 造形遊び③コンテ・墨汁で遊ぶ～「造形遊び」から「表現」が生まれる～（電子黒板使用）	第3回の授業内容（「造形遊び」→「造形表現」の関係）を復習。	15分
第8回 造無垢な目と自由な心② DVD『きのうの自分をこえてゆけ～絵本作家 荒井良二～』（電子黒板使用）	絵本作家・荒井良二について調べ学習。	20分
第9回 絵本とこどもの心（電子黒板使用）	「絵本にまつわる幼少期の体験」について記しておく。	15分
第10回 造形遊び④紙で遊ぶ・お花紙を遊ぶ（電子黒板使用）	第3回、第7回の授業内容（「造形遊び」→「造形表現」の関係）を復習	15分
第11回 造形遊び⑤紙で遊ぶ・紙を組む（電子黒板使用）	第3回、第7回の授業内容（「造形遊び」→「造形表現」の関係）を復習	15分
第12回 造形表現⑥捨てられるはずだったものからつくる	授業の趣旨に合った「ゴミ」を捨てずに収集することを意識し楽しむ。	60分
第13回 造形遊び⑦光で遊ぶ・影で遊ぶ・身体で遊ぶ（OHP使用 / グループワーク）	授業の目的に合った素材、ものを探しておく。	20分
第14回 こどもの造形はオモシロイ②（電子黒板使用）	第4回の授業内容を復習	20分
第15回 振り返り・まとめ（電子黒板使用）	第14回までのワークシートを読み返し、まとめの準備をしておく。	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。

授業の提出課題を60%で評価し、その内容は事前学修5%、ワークシート25%（毎回配付されるワークシートを授業内で各自作成し提出）、最終授業でのレポート（まとめ）30%である。授業への積極的関与は40%である。

#### 課題に対してのフィードバック

課題（事前学修）およびワークシートを返却する際、記述内容に即してプリントなどで補足しながら振り返りを行う。

#### 教科書・参考書

教科書：なし  
必要に応じてプリントを配付